

東アジア人文情報學研究センター
東方學資料叢刊 第 22 冊

朝鮮本十選

京都大學人文科學研究所附屬東アジア人文情報學研究センター

2016

東アジア人文情報學研究センター
東方學資料叢刊 第 22 冊

朝鮮本十選

京都大學人文科學研究所附屬東アジア人文情報學研究センター

2016

はしがき

本冊子は京都大学人文科学研究所が所蔵する漢籍のうち、いわゆる朝鮮本の典型例十点を収めた圖録である。本研究所では「中國人が中國語を用いて著した書物」のうち、特に「文言（文語文）」によって著された書物のことを「漢籍」と稱しているが、これは資料の内容上の定義であり、資料の造本上の區別、つまりどの國（地域）で作られた書物であるかという觀點から言えば、同じ漢籍のなかにも唐本、和刻本、朝鮮本などの區別が生じてくる。

壓倒的多数の漢籍は、もちろん中國で刊刻され、ないしは排印されたものであるが、その一方では日本や朝鮮で復刻ないし翻刻され、新たな面貌を備えて流通していた漢籍も少なくない。これを中國本場の唐本と區別する意味で、和刻本、朝鮮本などと呼びならわしているわけである。

このうち朝鮮本については、朝鮮半島の人々が中國語の文語文、すなわち古典漢文を用いて著した書物——假に韓書とよぶ——についても同じく朝鮮本と呼ぶことが多いので紛らわしいが、兩者は嚴密には區別しなければならぬ。本冊子にはひとまず朝鮮本漢籍のみを収録したが、純粹な朝鮮本（いわゆる韓書）についても、いずれ機會を設けて別途紹介することにした。

一般に、朝鮮本の造本上の特色として擧げられることは、

- (1) 表紙に厚手の染紙を用いること。
- (2) 五つ目綴じ（五針眼訂、いわゆる朝鮮綴じ）であること。
- (3) 題簽紙を用いず、外題を直接に墨書すること（いわゆる「打っ付け書き」）。
- (4) 表紙の右下、綴じ目の部分に總冊子數を記して「共幾」と書き入れていること。

等々であるが、これらの特色を頭に入れておけば、唐本と朝鮮本とは比較的容易に區別することができる。本冊子を通して朝鮮本のおおよそのイメージを掴み取っていただければと思う。

「十選」とは名ばかり、本冊子に収録した資料は必ずしも貴重書というわけではない。むしろ舊韓國の滅亡後、市場に大量に出回った通行本が、たまたま研究所の書架に収まったという性格のものが多くようである。それでも、

「欽文之寶」、「群玉圖書之府」、「侍講院」、「御營」 いずれも朝鮮王朝の印。

「柳時會章」 柳時會（一五六二〜一六三五）、字仲嘉、號水村、慶尚道晉州の人。

「趙寧夏印」 趙寧夏（一八四五〜一八八四）、字箕三、京畿道豊壤の人。甲申事變で撲殺された朝鮮末期の官僚。

「大寧院」 南禪寺塔頭の一つ。

「寶玲文庫」 英國人フランク・ホーレー（一九〇六〜一九六二）の藏書印。

などの舊藏者の印が押されていることは、それぞれの資料の來歴を示す貴重な手がかりとして興味を盡きない。これら朝鮮半島で造られた漢籍という特有の個性をもった書物群を所藏することが、本研究所における東方學の傳統に一つの隠し味を添えていることは確かであろう。

ちなみに、研究所の運営する「東方學デジタル圖書館」においては、本冊子に収録した資料以外の、いくつかの朝鮮本についてその全文畫像を公開している。貴重書という意味では、むしろこちらのほうに重要な資料が集まっているので、併せてご参照いただければ幸いです。

二〇一六年七月

京都大學人文科學研究所附屬東アジア人文情報學研究センター（兼任） 矢木 毅

(參考)

東方學デジタル圖書館

<http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/db-machine/toho/html/top.html>

- ・真西山讀書記乙集上大學衍義 殘三卷 宋真德秀撰 朝鮮銅活字印本
- ・金剛般若波羅蜜經 一卷 坩持誦金剛經感應事跡 一卷 姚秦釋鳩摩羅什奉詔譯 感應事跡 □闕名撰 朝鮮刊本
- ・佛說焰口經天地冥陽水陸儀文 卷下 □仔夔撰 建文三年朝鮮刊本
- ・證道歌 一卷 唐釋玄覺撰 元趙孟頫書 嘉靖十年慶尚道永川地公山本寺刊本

目次

一	千字文	一頁
二	東萊先生音註唐鑑	四頁
三	十九史略通攷	九頁
四	皇明詔令	一六頁
五	大明集禮	二〇頁
六	大明律講解	二五頁
七	尉繚子直解	二九頁
八	紀效新書	三四頁
九	樊川文集	三九頁
十	唐詩品彙	四三頁

經部 小學類 各體字書之屬

千字文一卷

梁 周興嗣 次韻 朝鮮 刊本 1册

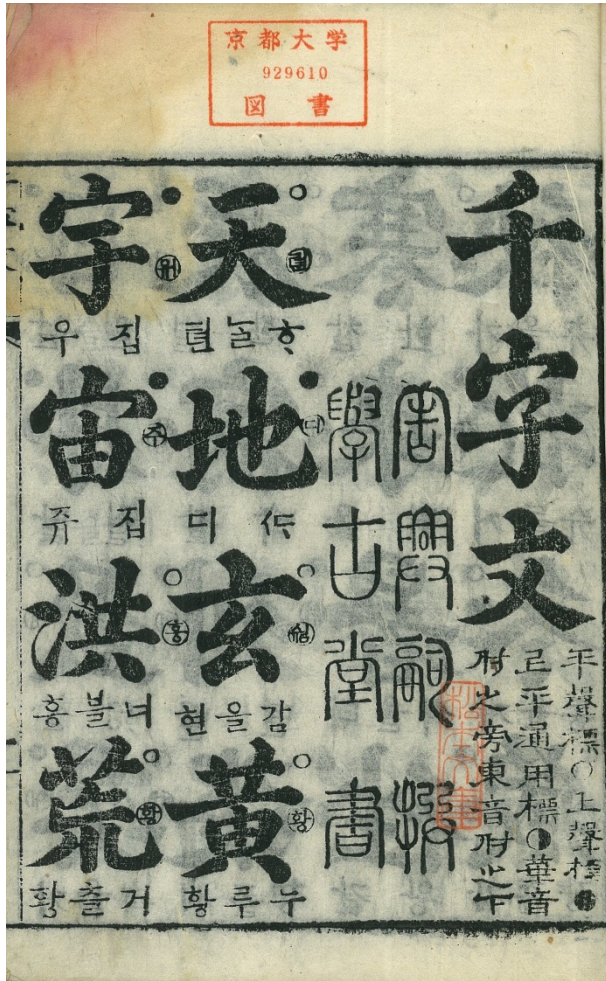


經部 小學類 各體字書之屬

千字文一卷

梁 周興嗣 次韻 朝鮮 刊本 1册

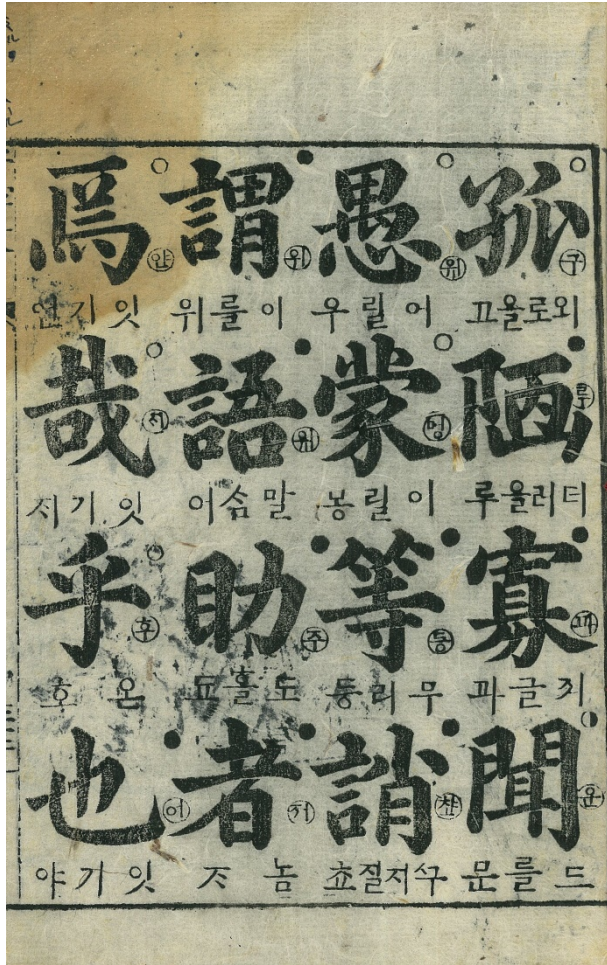
*周興嗣撰
*學古堂書



經部 小學類 各體字書之屬

千字文一卷

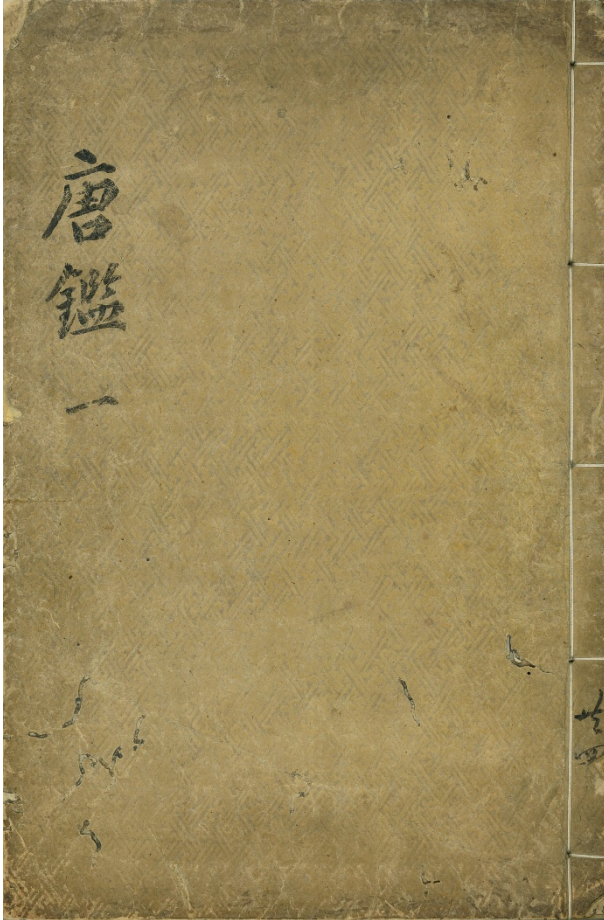
梁周興嗣次韻 朝鮮刊本 1册



史部 編年類 各代之屬

東萊先生音註唐鑑二十四卷

宋 范祖禹 撰 宋 呂祖謙 音註 朝鮮 刊本 4 册

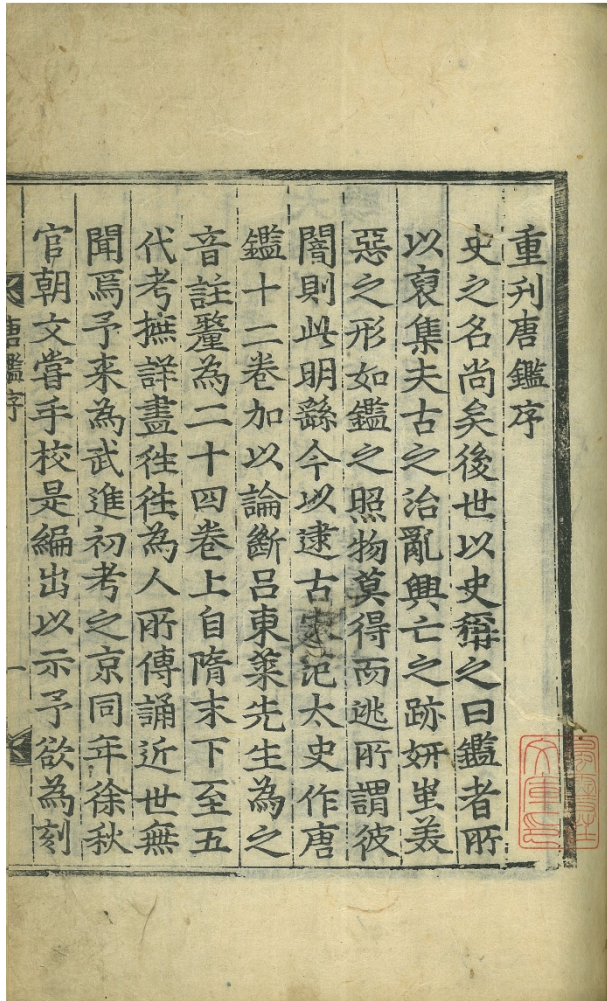


史部 編年類 各代之屬

東萊先生音註唐鑑二十四卷

宋 范祖禹 撰 宋 呂祖謙 音註 朝鮮 刊本 4 册

「風雪莊文庫印」 朱文長方印



重刊唐鑑序

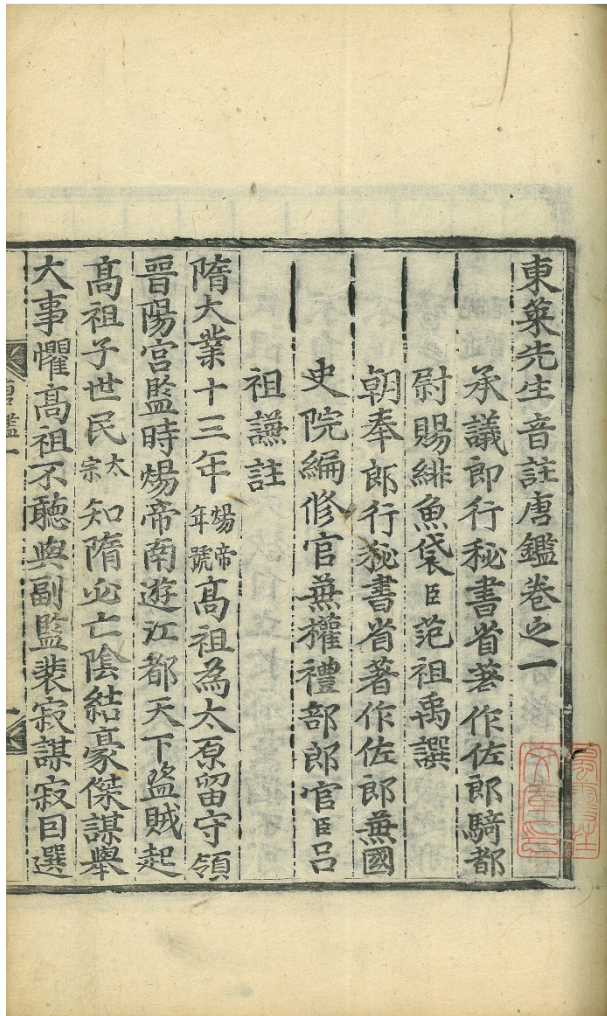
史之名尚矣後世以史稱之曰鑑者所以裒集夫古之治亂興亡之跡妍蚩美惡之形如鑑之照物莫得而逃所謂彼闇則此明繇今以逮古逮范太史作唐鑑十二卷加以論斷呂東萊先生為之音註釐為二十四卷上自隋末下至五代考撫詳盡往往為人所傳誦近世無聞焉予來為武進初考之京同年徐秋官朝文嘗手校是編出以示予欲為刻

史部 編年類 各代之屬

東萊先生音註唐鑑二十四卷

宋 范祖禹 撰 宋 呂祖謙 音註 朝鮮 刊本 4 册

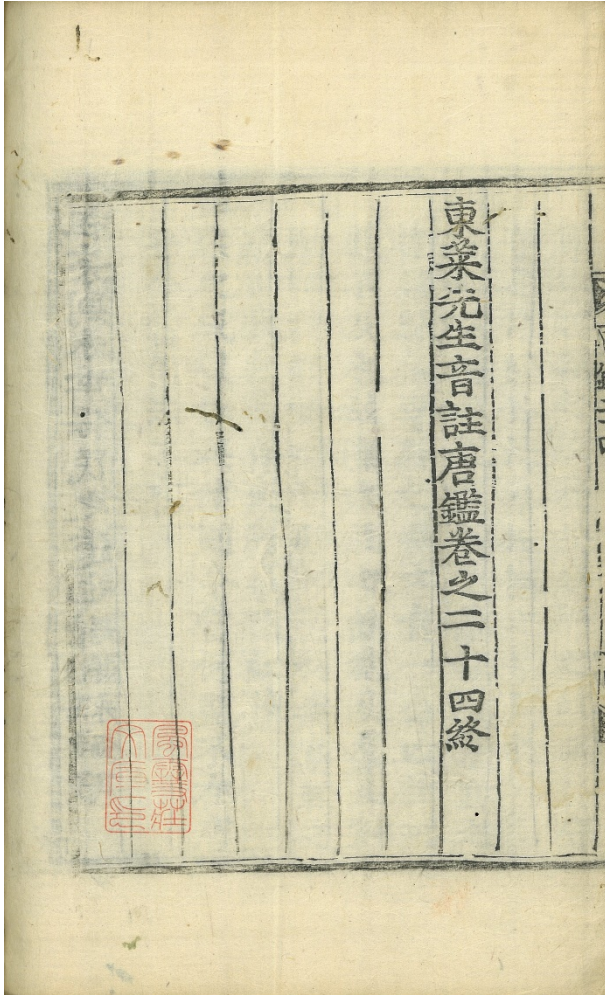
「風雪莊文庫印」 朱文長方印



史部 編年類 各代之屬

東萊先生音註唐鑑二十四卷

宋 范祖禹 撰 宋 呂祖謙 音註 朝鮮 刊本 4 册



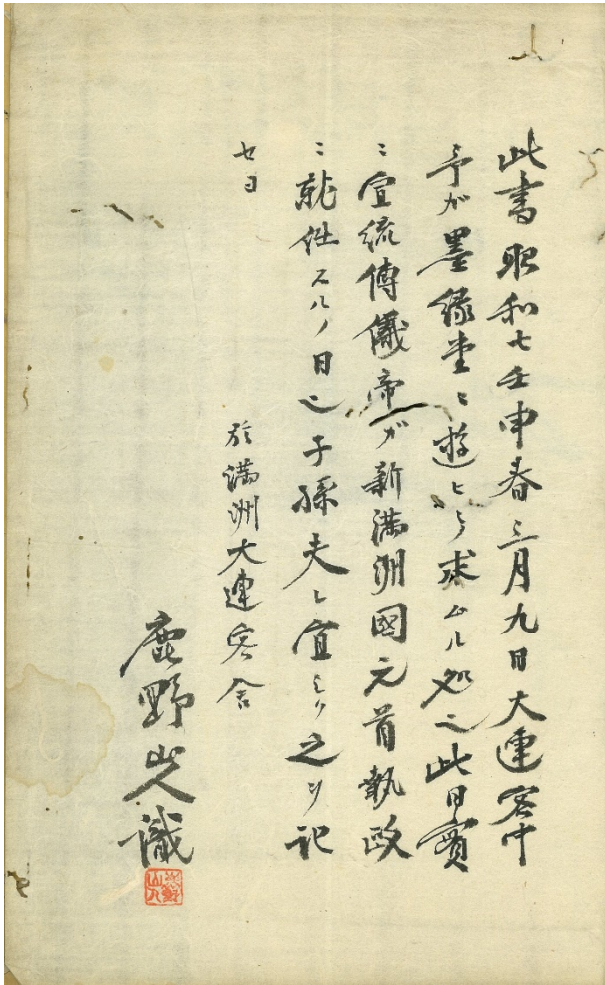
「風雪莊文庫印」朱文長方印

史部 編年類 各代之屬

東萊先生音註唐鑑二十四卷

宋 范祖禹 撰 宋 呂祖謙 音註 朝鮮 刊本 4册

「鹿野山人」朱文小方印

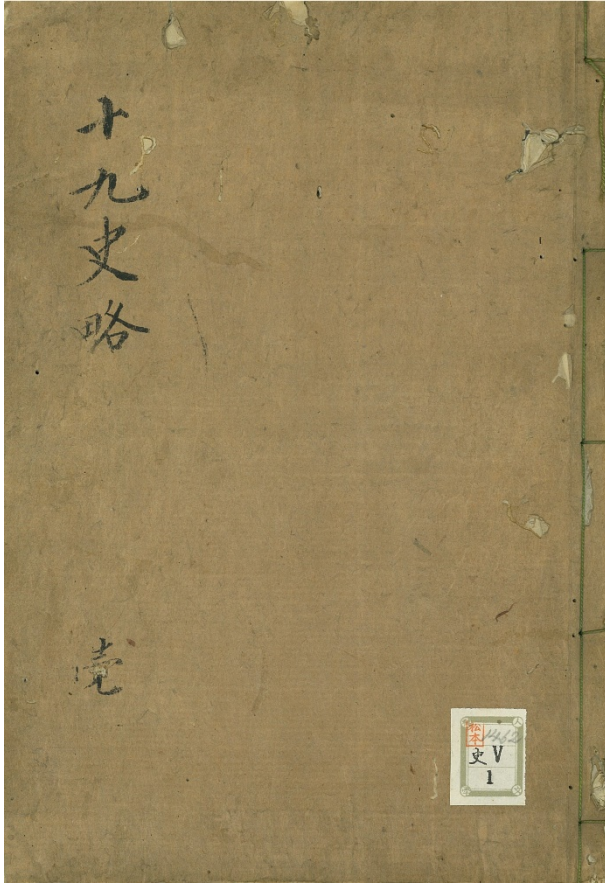


史部 別史類

古今歷代標題註釋十九史略通攷八卷

元曾先之撰 元余進補

嘉靖二十七年 朝鮮潭陽府 刊本 7册



*序目錄總括凡例用活字印本補配

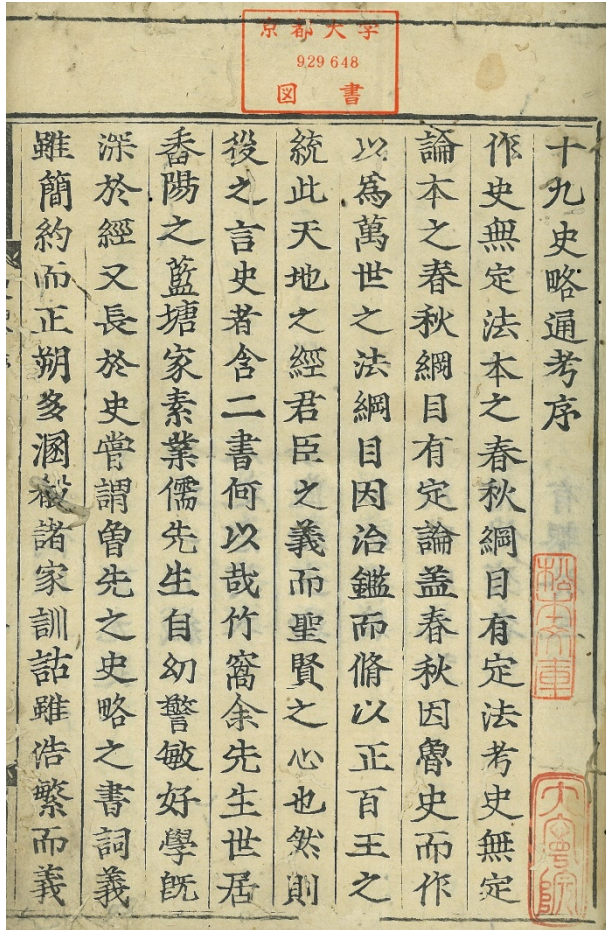
史部 別史類

古今歷代標題註釋十九史略通攷八卷

元曾先之撰 元余進補

嘉靖二十七年 朝鮮潭陽府 刊本 7册

「大寧院」朱文長方印



十九史略通考序

作史無定法本之春秋綱目有定法考史無定
論本之春秋綱目有定論蓋春秋因魯史而作
以爲萬世之法綱目因治鑑而脩以正百王之
統此天地之經君臣之義而聖賢之心也然則
後之言史者含二書何以哉竹窩余先生世居
香陽之藍塘家素業儒先生自幼警敏好學既
深於經又長於史嘗謂曾先之史略之書詞義
雖簡約而正朔多涵蔽諸家訓詁雖浩繁而義

史部 別史類

古今歷代標題註釋十九史略通攷八卷

元曾先之撰 元余進補

嘉靖二十七年 朝鮮潭陽府 刊本 7册

古今歷代標題註釋十九史略通攷卷之一
 前進士廬陵 曾先之 編次
 松塢門人鄱陽竹窗余進宗海通攷
 太古

天皇氏 以木德王 歲起攝提無為而化兄弟
 十二人各一萬八千歲 王去聲凡有天下者
 據其身臨天下而言曰王則去聲後皆效此
 尚青色餘如火赤土黃金白水黑皆此意也
 商雅太歲在寅曰攝提格無為而化謂上古
 民淳不待教也 **地皇氏** 以火德王兄弟十一人

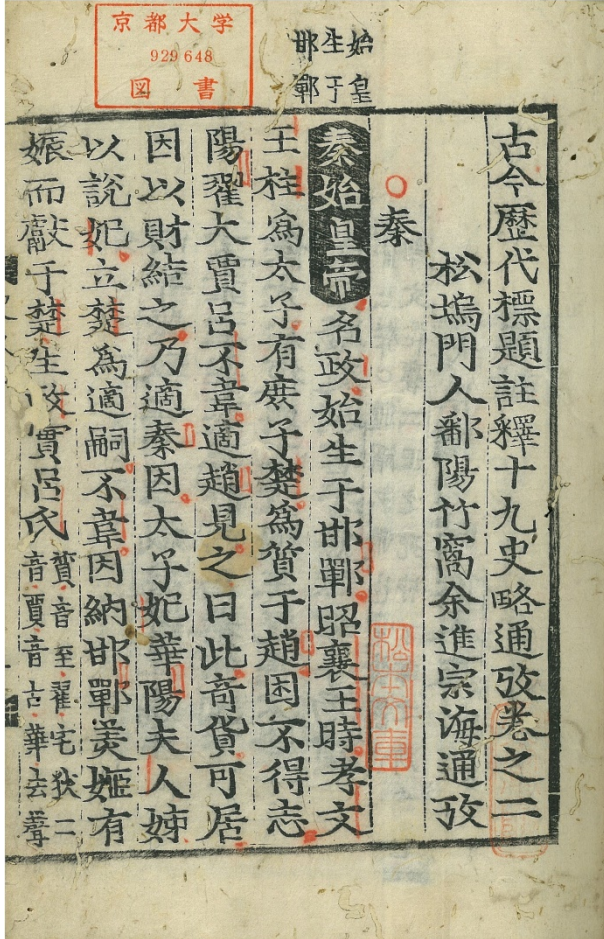
史部 別史類

古今歷代標題註釋十九史略通攷八卷

元曾先之撰 元余進補

嘉靖二十七年 朝鮮潭陽府 刊本 7册

「大寧院」朱文長方印



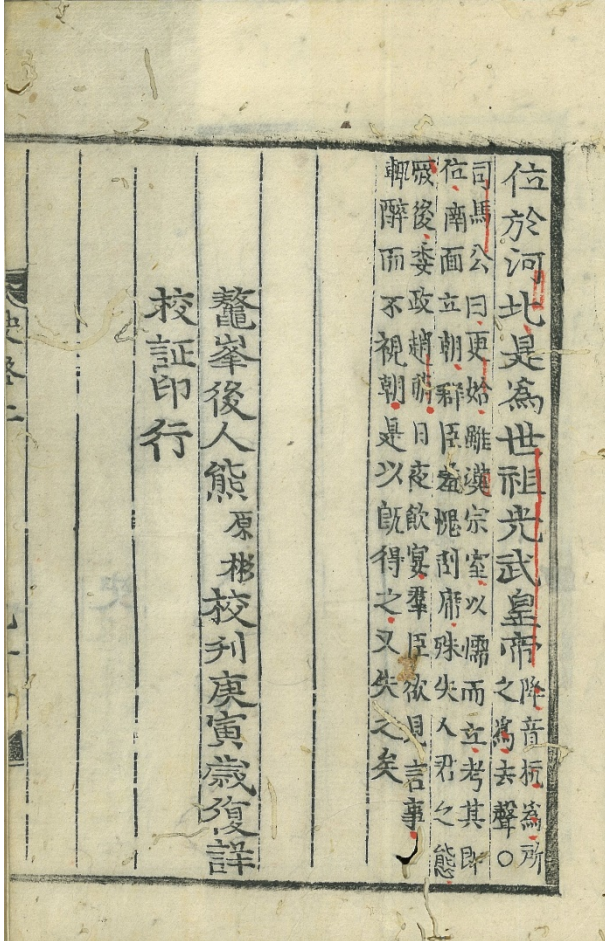
史部 別史類

古今歷代標題註釋十九史略通攷八卷

元曾先之撰 元余進補

嘉靖二十七年 朝鮮潭陽府 刊本 7册

* 釐峯後人熊原彬校刊
* 庚寅歲復詳校証印行



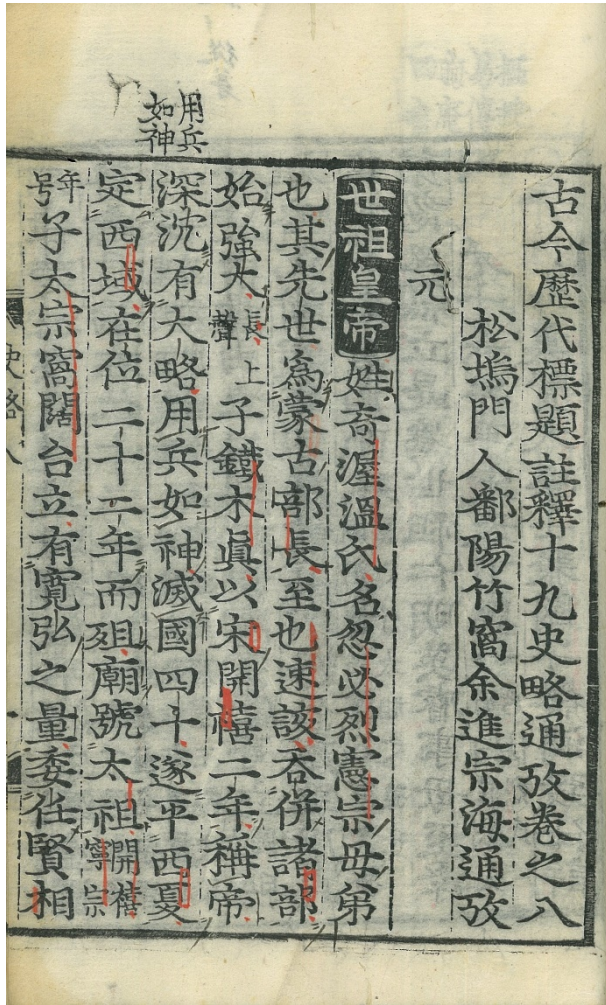
史部 別史類

古今歷代標題註釋十九史略通攷八卷

元 曾先之 撰 元 余進補

嘉靖二十七年 朝鮮潭陽府 刊本 7册

*松塢門人鄱陽竹窩余進宗海通攷

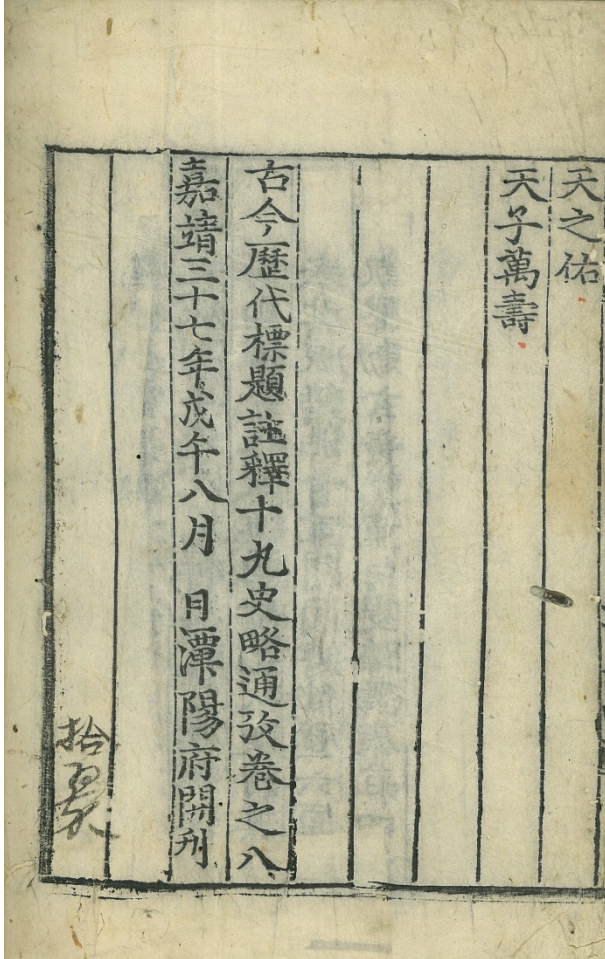


史部 別史類

古今歷代標題註釋十九史略通攷八卷

元 曾先之 撰 元 余進 補

嘉靖二十七年 朝鮮潭陽府 刊本 7冊



*嘉靖三十七年戊午八月 日潭陽府開刊
「拾翠」(書き入れ)

史部 詔令奏議類 詔令之屬

皇明詔令二十一卷

明 闕名撰 朝鮮 活字印本 10册



史部 詔令奏議類 詔令之屬

皇明詔令二十一卷

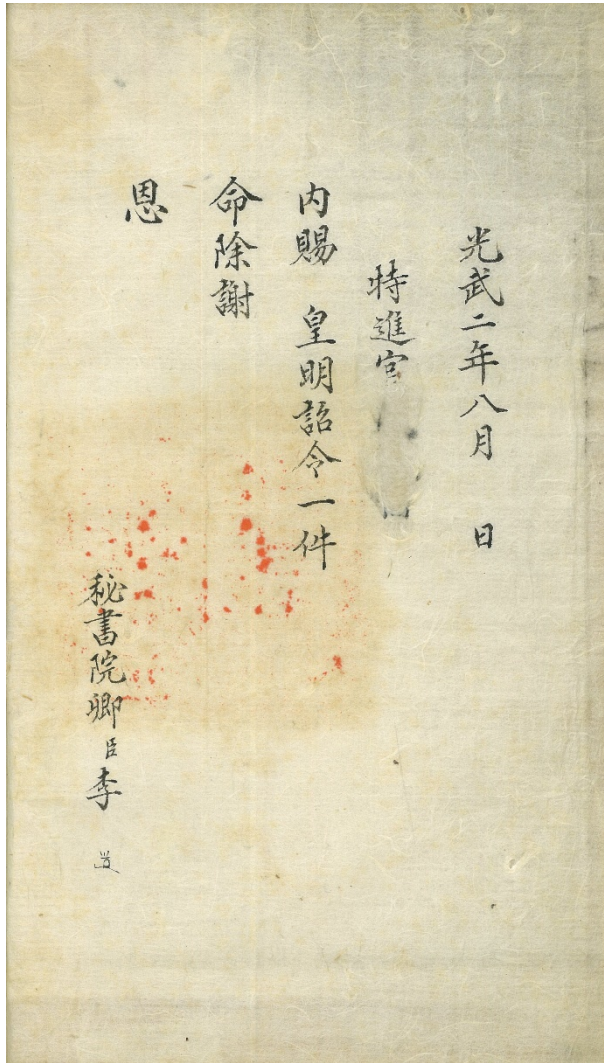
明 闕名撰 朝鮮 活字印本

10册

*表紙見返しに内賜記

*光武二年(一八九八)

*李道宰(一八四八〜一九〇九)



史部 詔令奏議類 詔令之屬

皇明詔令二十一卷

明 闕名撰 朝鮮 活字印本 10册

「欽文之寶」朱文方印

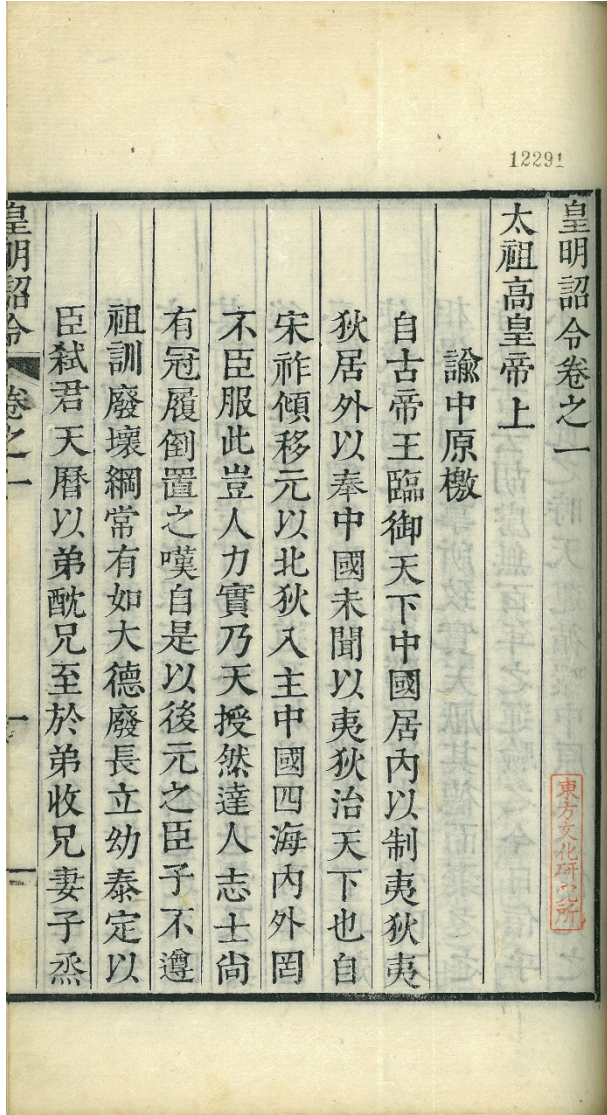


史部 詔令奏議類 詔令之屬

皇明詔令二十一卷

明 闕名撰 朝鮮 活字印本

10册



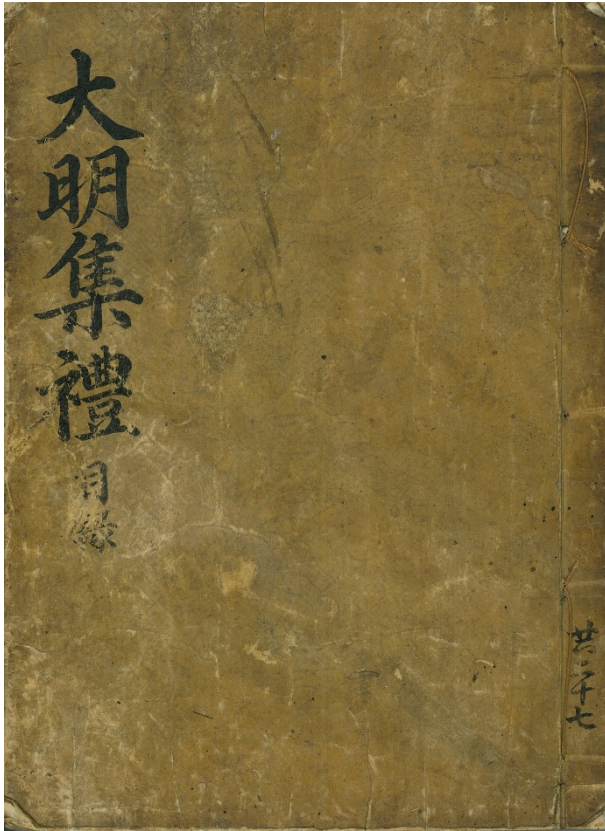
史部 政書類 古今典禮之屬

大明集禮五十三卷

明 徐一夔等奉敕撰

朝鮮 刊本

27册



史部 政書類 古今典禮之屬

大明集禮五十三卷

明 徐一夔等奉敕撰

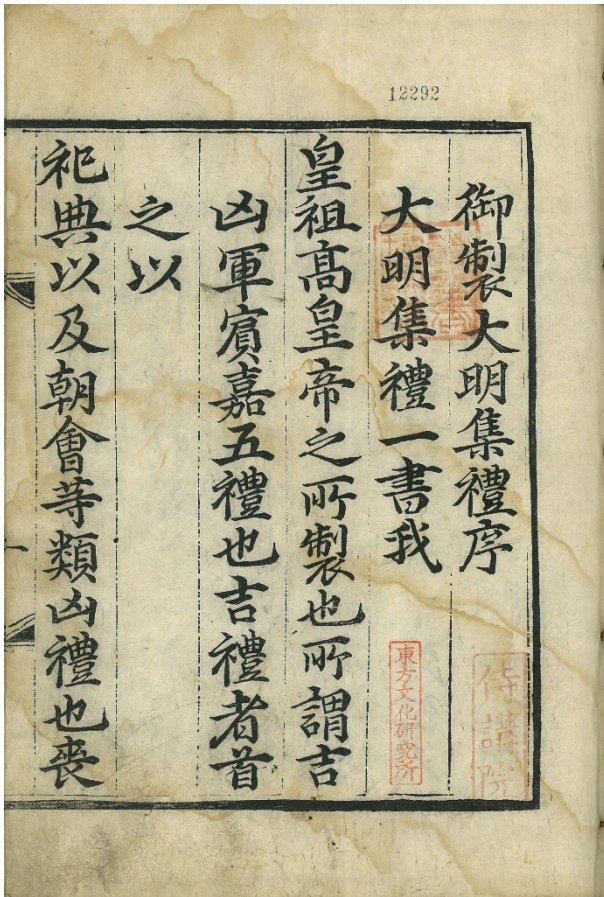
朝鮮 刊本

27册

「侍講院」朱文長方印

「弘書珍籍」朱文方印

*明嘉靖帝御製序（嘉靖九年）



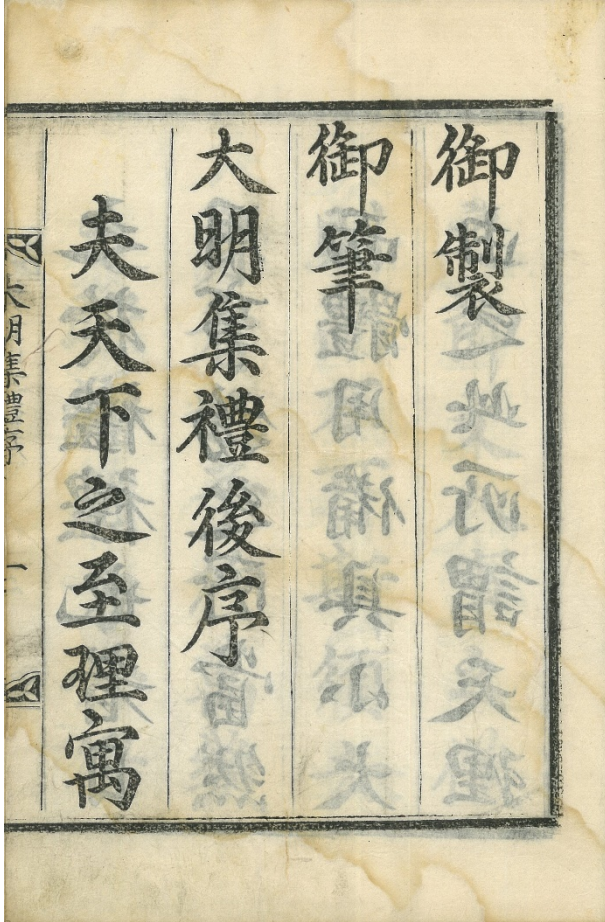
史部 政書類 古今典禮之屬

大明集禮五十三卷

明 徐一夔 等奉敕撰

朝鮮 刊本

27册



*朝鮮肅宗御製御筆後序（肅宗十八年）

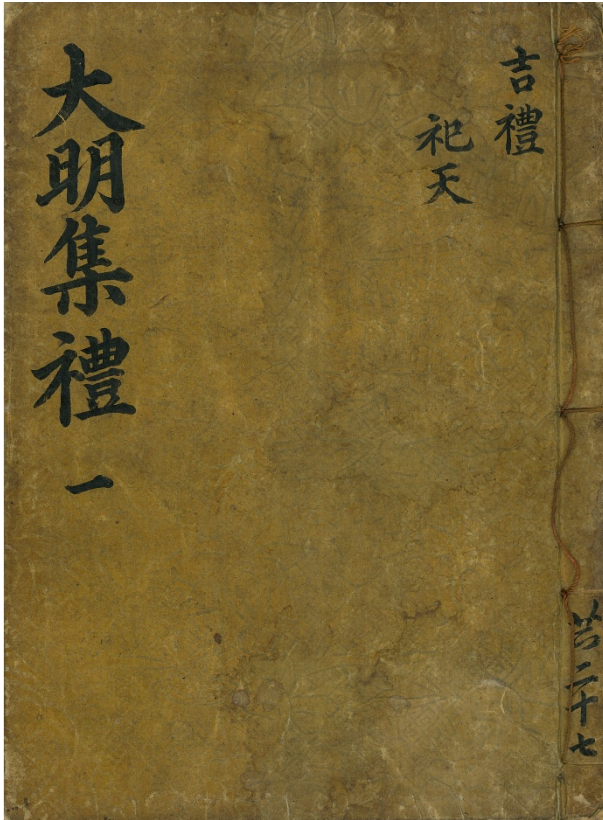
史部 政書類 古今典禮之屬

大明集禮五十三卷

明 徐一夔等奉敕撰

朝鮮刊本

27册



史部 政書類 古今典禮之屬

大明集禮五十三卷

明 徐一夔 等奉敕撰

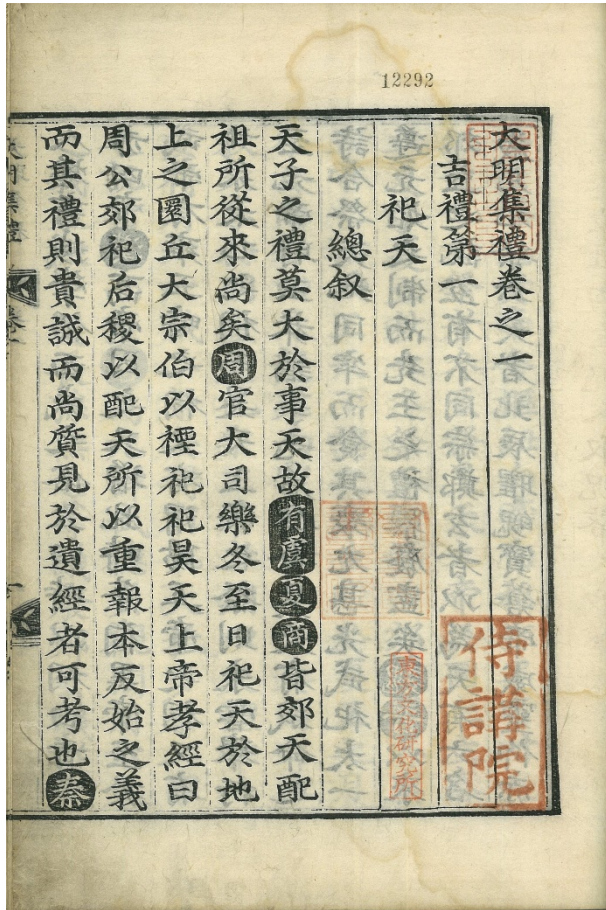
朝鮮 刊本

27册

「侍講院」朱文長方印（篆文）

「侍講院」朱文長方印（楷書）

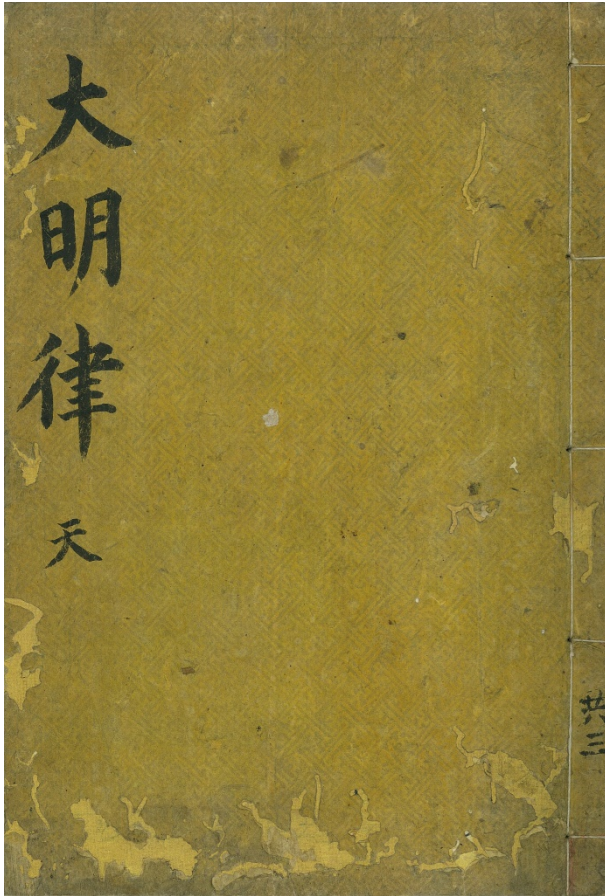
「群玉圖書之府」朱文方印



史部 政書類 法令之屬

大明律講解三十卷

明 闕名撰 朝鮮箕營刊本 3册

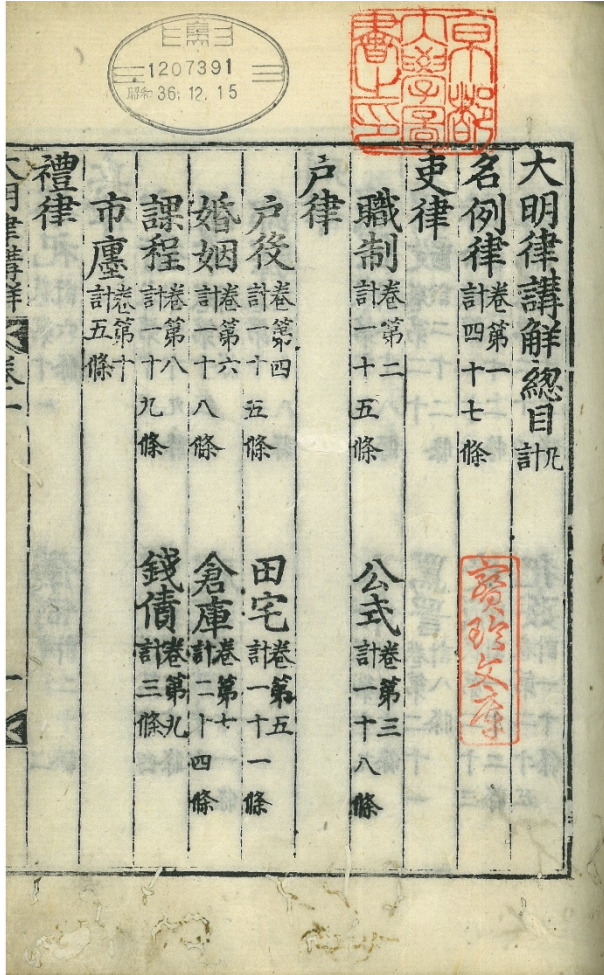


史部 政書類 法令之屬

大明律講解三十卷

明 闕名撰 朝鮮箕營 刊本 3册

「寶玲文庫」朱文長方印

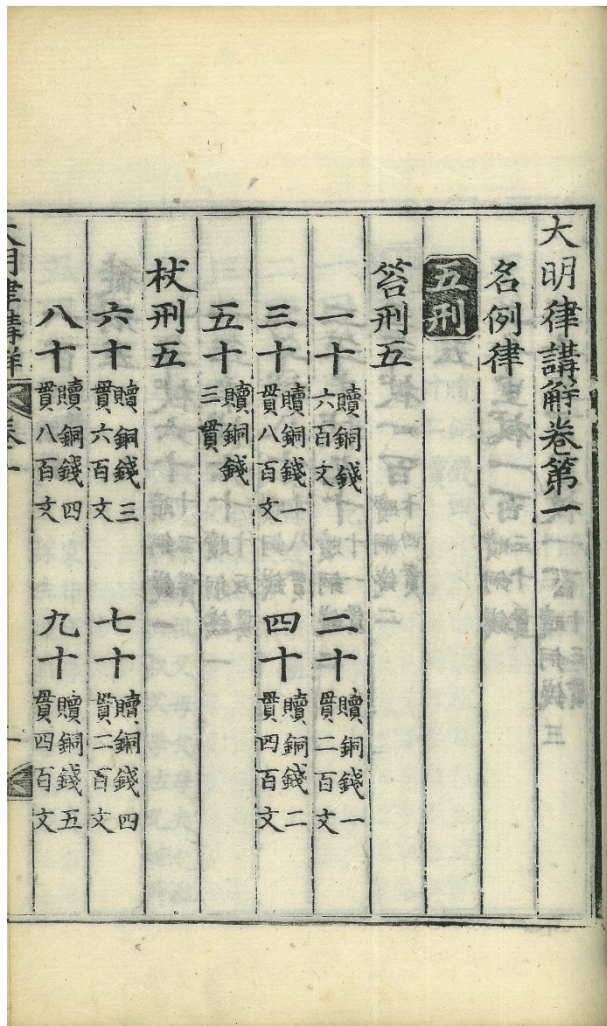


史部 政書類 法令之屬

大明律講解三十卷

明 闕名撰 朝鮮箕營刊本

3册



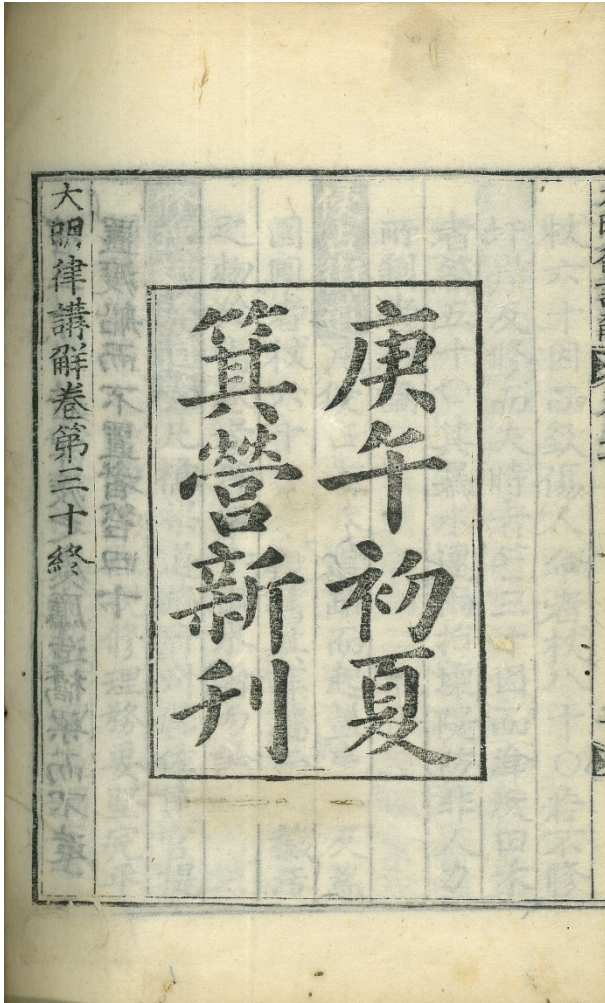
史部 政書類 法令之屬

大明律講解三十卷

明 闕名撰 朝鮮箕營刊本

3册

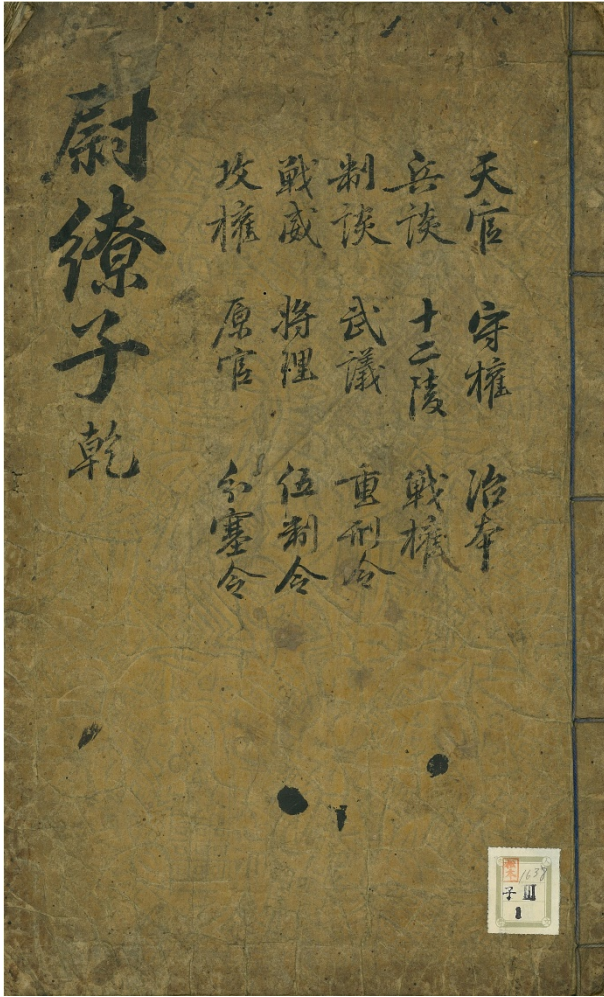
*庚午初夏 箕營新刊



子部 兵家類

尉繚子直解五卷

明 劉寅 撰 朝鮮 刊本 2册

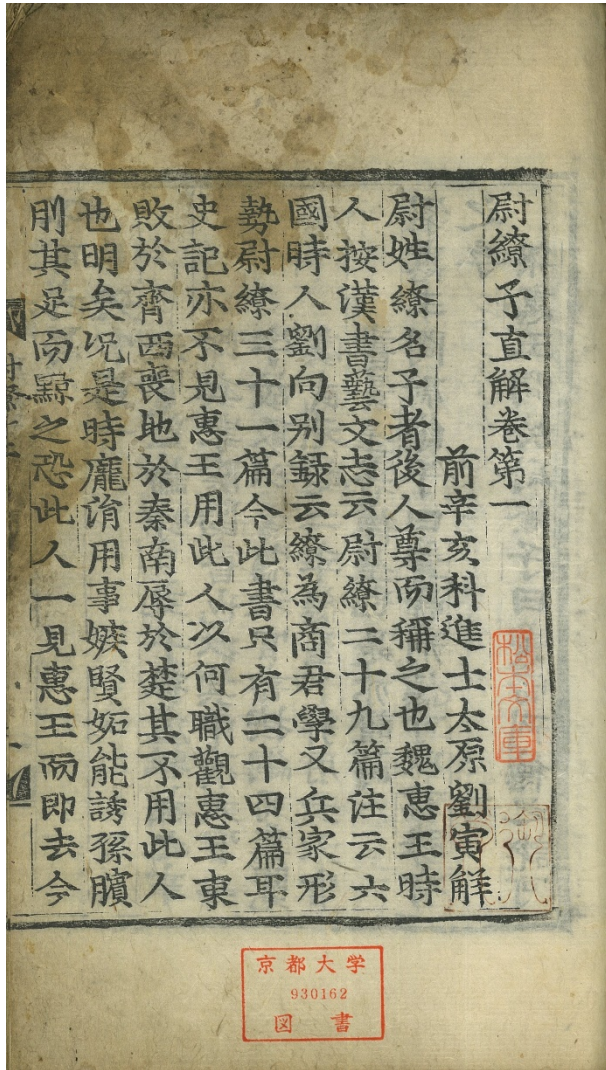


子部 兵家類

尉繚子直解五卷

明 劉寅撰 朝鮮 刊本 2册

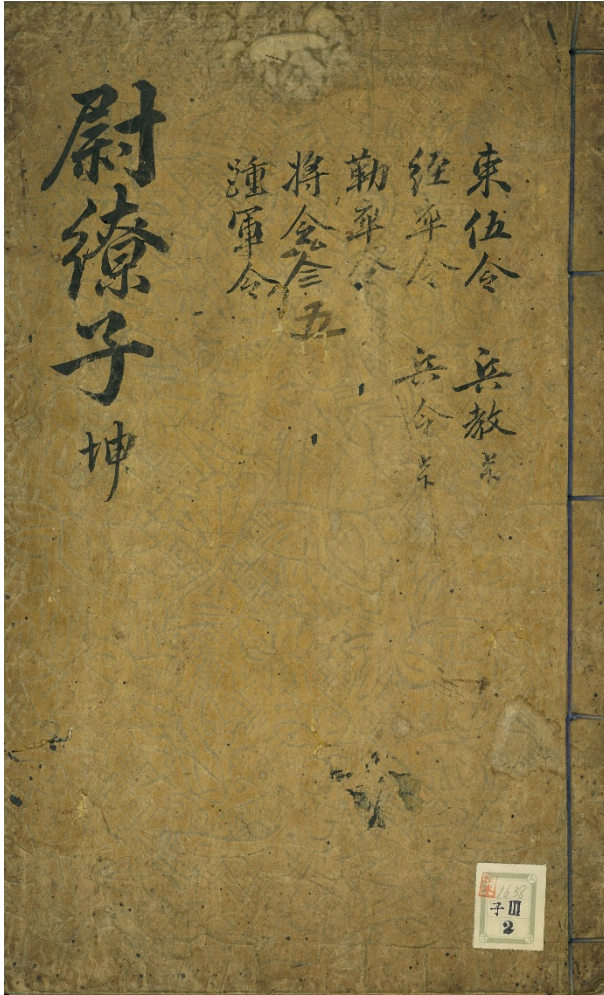
「御營」朱文方印



子部 兵家類

尉繚子直解五卷

明 劉寅 撰 朝鮮 刊本 2册

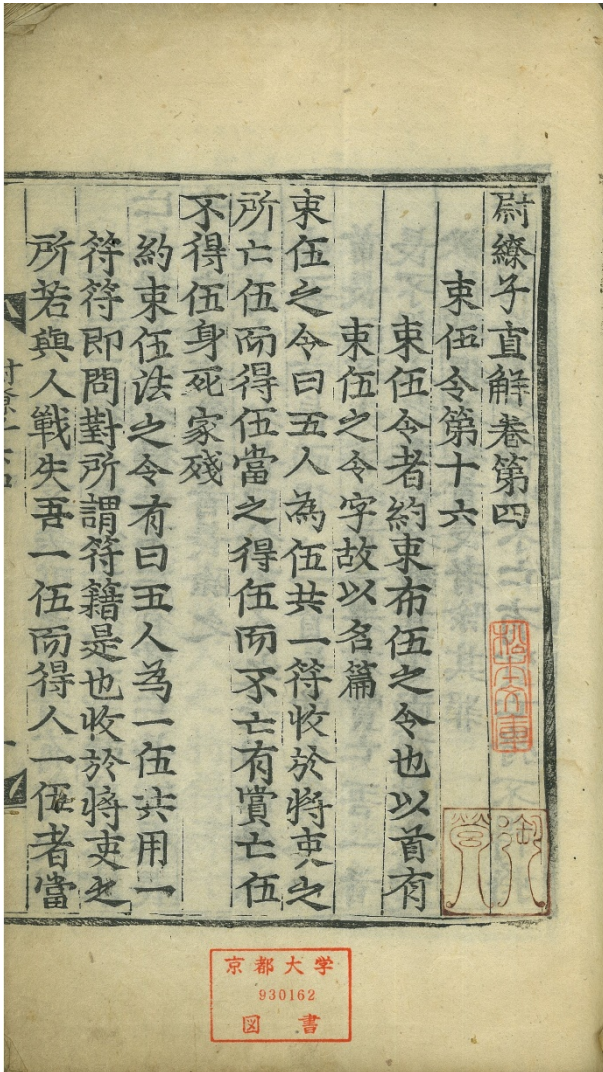


子部 兵家類

尉繚子直解五卷

明 劉寅撰 朝鮮 刊本 2册

「御營」朱文方印



尉繚子直解卷第四

束伍令第十六

束伍令者約束布伍之令也以首有束伍之令曰五人為伍共一符收於將吏之所亡伍而得伍當之得伍而不亡有賞亡伍不得伍身死家殘

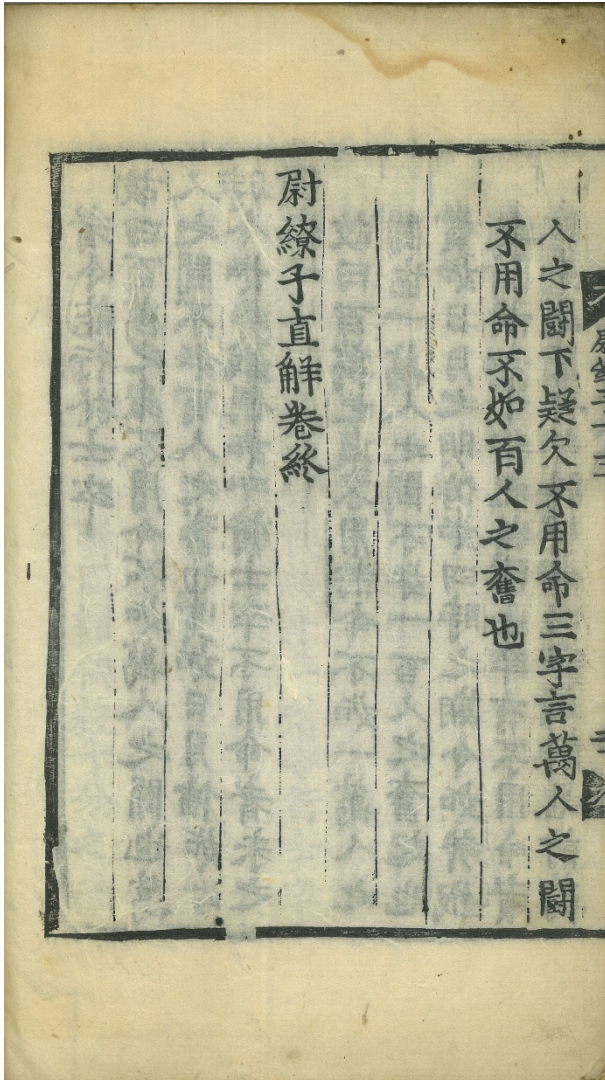
約束伍法之令有曰五人為一伍共用一符符即問對所謂符籍是也收於將吏之所若與人戰失吾一伍而得人一伍者當

京都大学
930162
圖書

子部 兵家類

尉繚子直解五卷

明 劉寅 撰 朝鮮 刊本 2册



子部 兵家類

紀效新書十八卷

明 戚繼光 撰

朝鮮安營 刊本

7 册

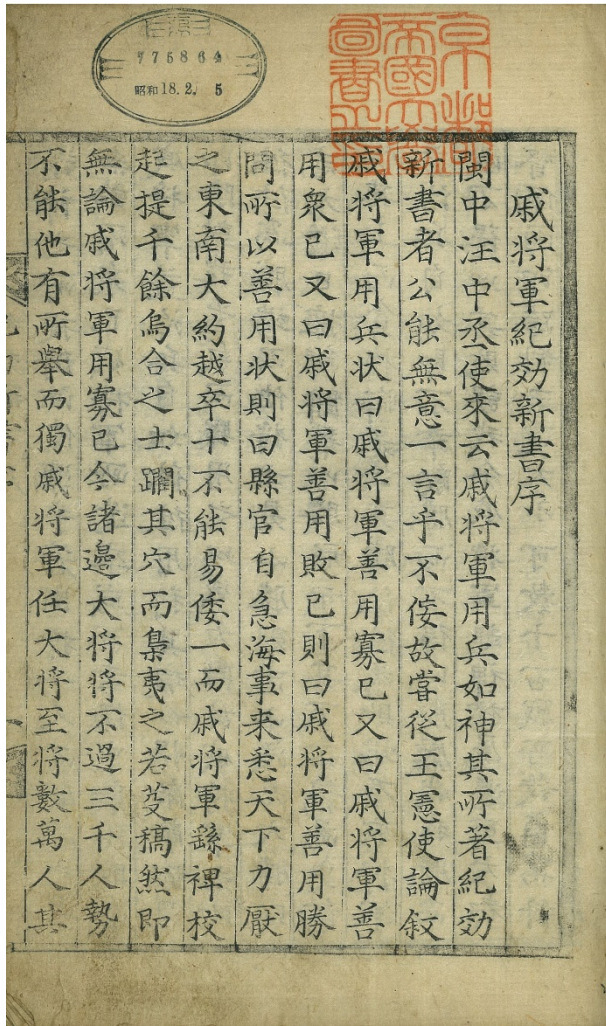


子部 兵家類

紀效新書十八卷

明 戚繼光 撰 朝鮮安營 刊本 7 册

* 戚將軍紀效新書序 (王世貞)



戚將軍紀效新書序

閩中汪中丞使來云戚將軍用兵如神其所著紀效
 新書者公能無意一言乎不佞故嘗從王憲使論叙
 戚將軍用兵狀曰戚將軍善用寡已又曰戚將軍善
 用衆已又曰戚將軍善用敗已則曰戚將軍善用勝
 問所以善用狀則曰縣官自急海軍來悉天下力厭
 之東南大約越卒十不能易倭一而戚將軍繇裨校
 起提千餘烏合之士躡其穴而梟夷之若芟稿然即
 無論戚將軍用寡已今諸邊大將將不過三千人勢
 不能他有所舉而獨戚將軍任大將至將數萬人其

子部 兵家類

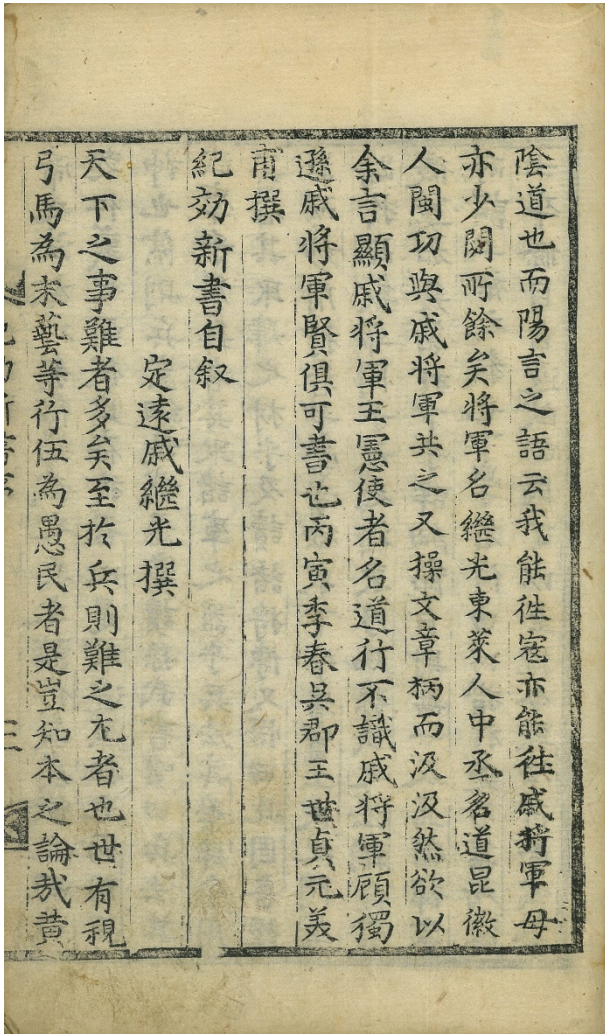
紀效新書十八卷

明 戚繼光 撰

朝鮮安營 刊本

7 冊

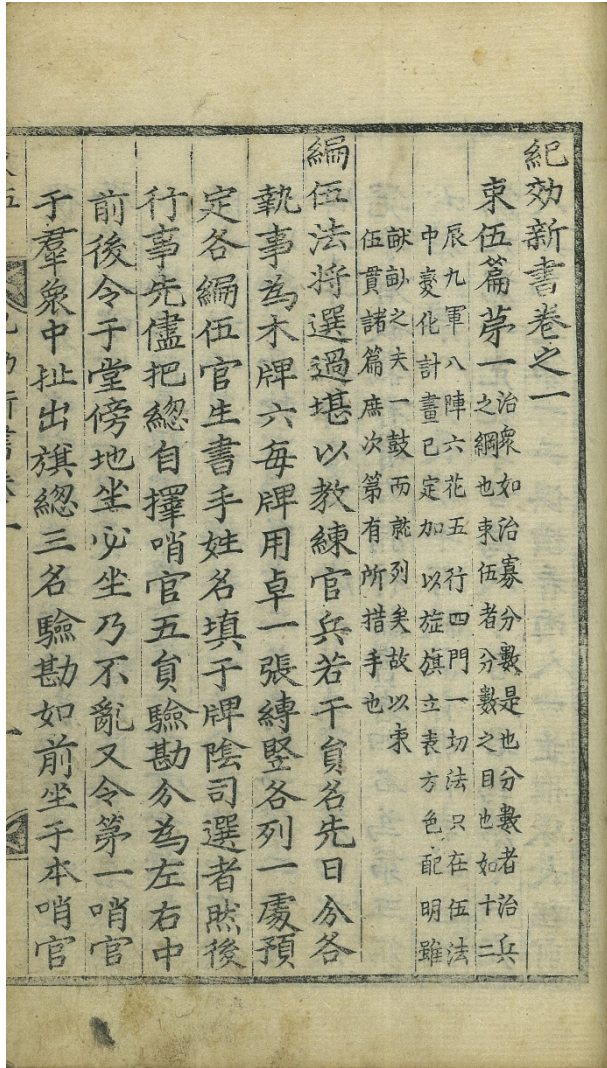
*紀效新書自敘 (戚繼光)



子部 兵家類

紀效新書十八卷

明 戚繼光 撰 朝鮮安營 刊本 7 册



子部 兵家類

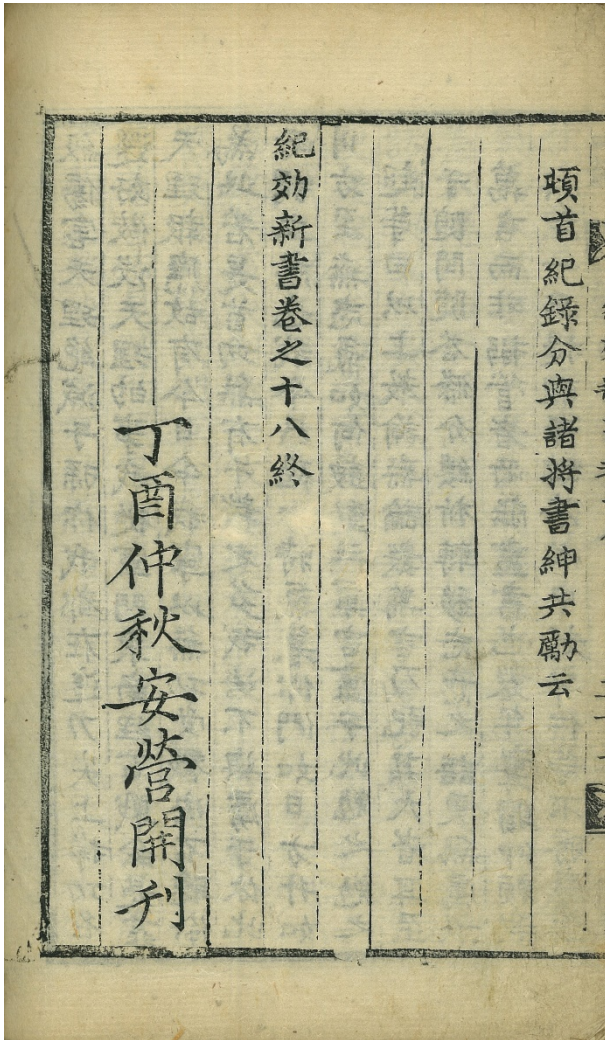
紀效新書十八卷

明 戚繼光 撰

朝鮮安營 刊本

7 册

* 丁酉仲秋 安營開刊



集部 別集類 唐五代之屬 晚唐

樊川文集夾註四卷 外集夾註一卷 增添註

□ 闕名撰 朝鮮刊本 4册



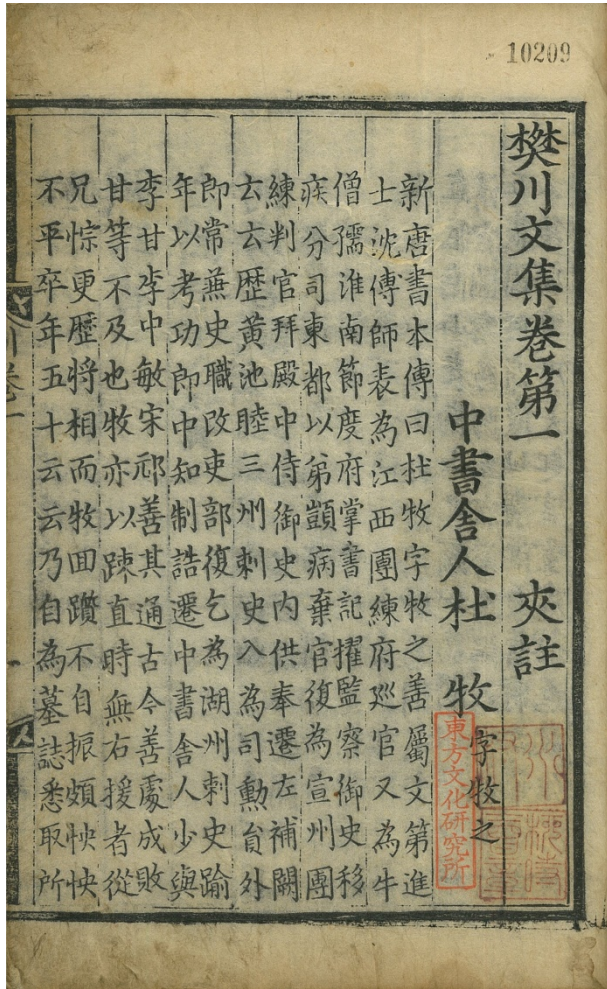
集部 別集類 唐五代之屬 晚唐

樊川文集夾註四卷 外集夾註一卷 增添註

□ 闕名撰 朝鮮刊本 4册

「水村」朱文方印

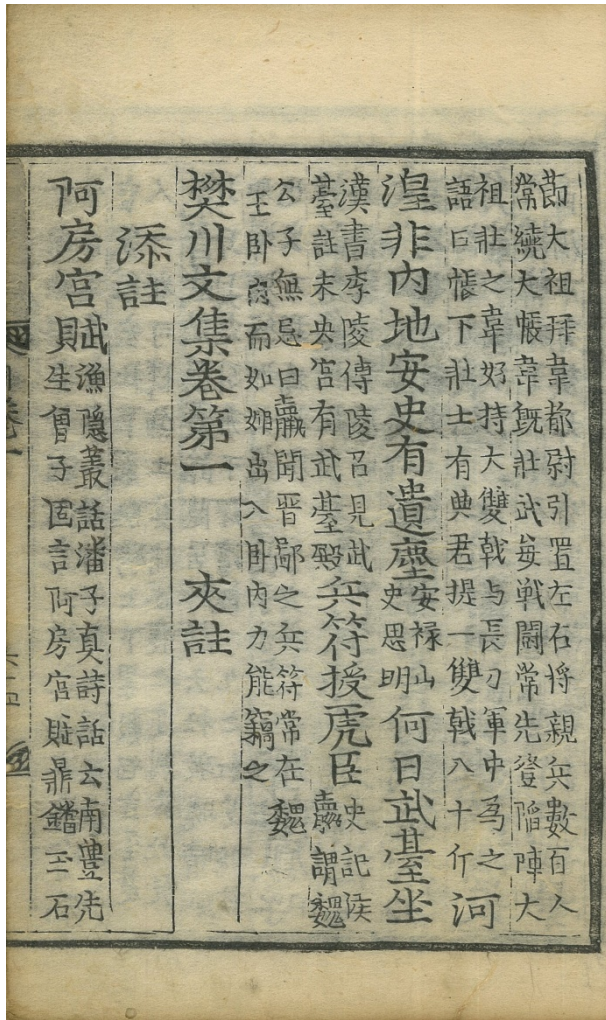
「柳時會章」朱文方印



集部別集類 唐五代之屬 晚唐

樊川文集夾註四卷 外集夾註一卷 增添註

□ 闕名撰 朝鮮刊本 4册



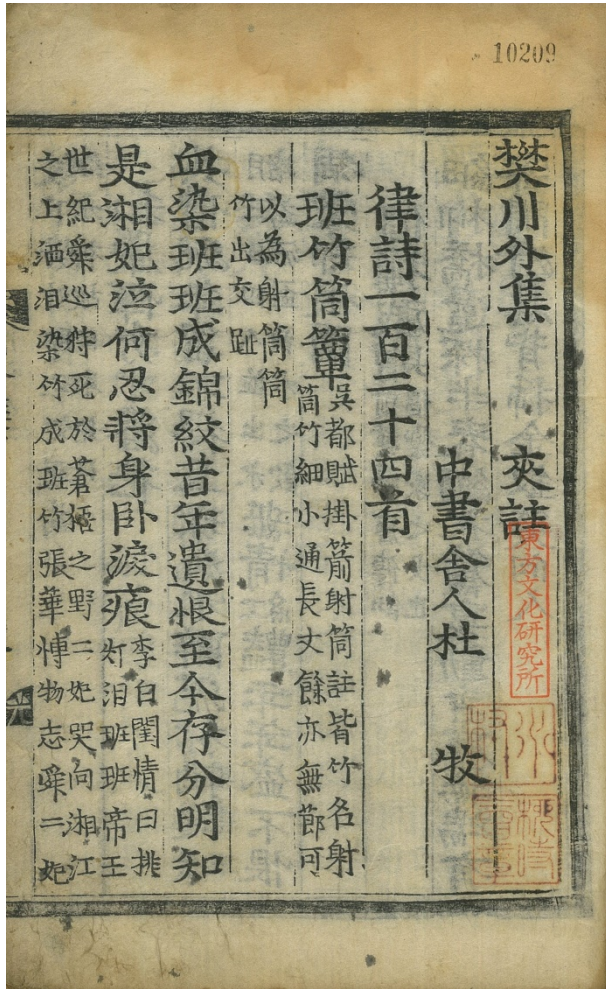
集部 別集類 唐五代之屬 晚唐

樊川文集夾註四卷 外集夾註一卷 增添註

□ 闕名撰 朝鮮刊本 4册

「水村」朱文方印

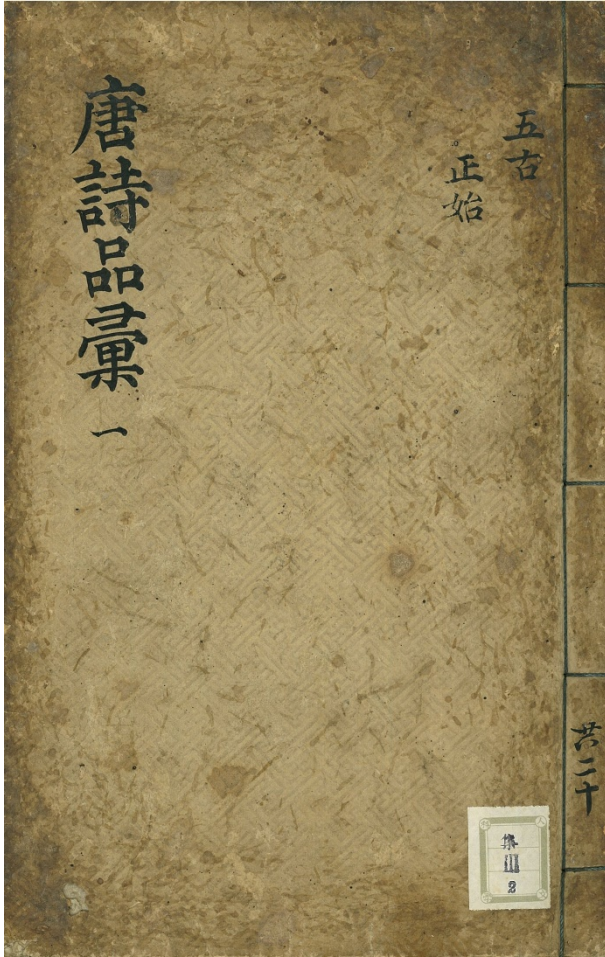
「柳時會章」朱文方印



集部 總集類 各代之屬

唐詩品彙九十卷

明 高棟輯 朝鮮 刊本 20册

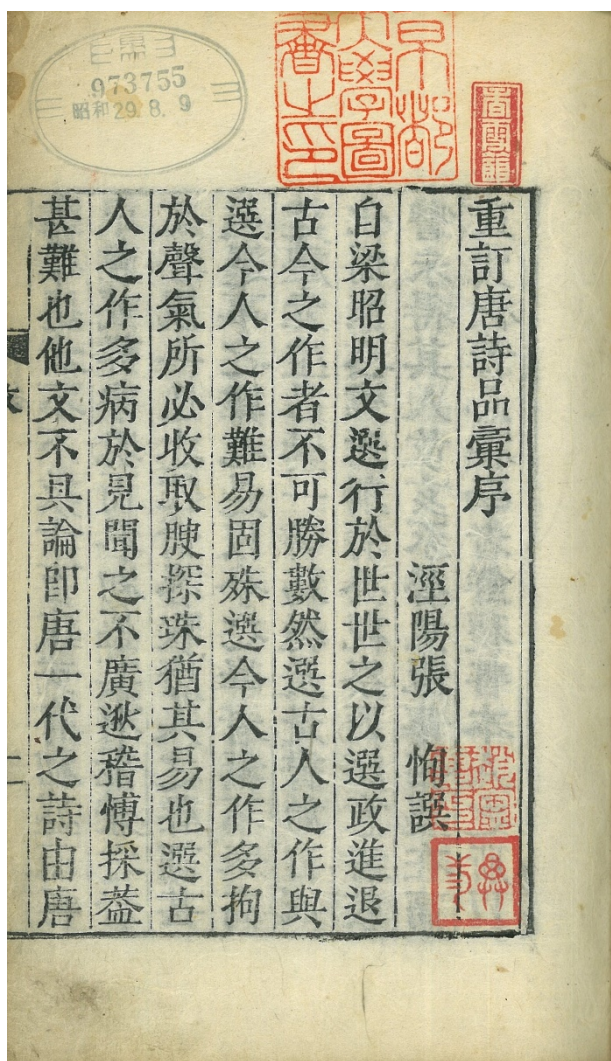


集部 總集類 各代之屬

唐詩品彙九十卷

明 高棟輯 朝鮮 刊本 20册

「香雪館」白文長方印
「趙寧夏印」白文方印
「箕三」朱文方印



重訂唐詩品彙序

涇陽張 恂謨

自梁昭明文選行於世世之以選政進退
古今之作者不可勝數然選古人之作與
選今人之作難易固殊選今人之作多拘
於聲氣所必收取腴探珠猶其易也選古
人之作多病於見聞之不廣逖稽博採蓋
甚難也他文不具論即唐一代之詩由唐

集部總集類各代之屬

唐詩品彙九十卷

明高棟輯 朝鮮刊本 20册

五言古詩卷之一

唐詩品彙一

新寧高棟編輯

關中張恂重訂

正始上

太宗皇帝

幸武功慶善宮賦

上所生之宮也貞觀六年幸之宴從臣賞賜闈

里同漢沛宛帝歡甚賦詩起居郎呂才被之管絃為功成慶善樂名九功之舞

壽丘唯舊跡豐邑乃前基粵子承累聖縣弧亦在茲

弱齡逢運改提劍鬱匡時指麾八荒定懷柔萬國夷

梯山盛入款駕海亦來思單于陪武帳日逐衛文螭

唐詩品彙

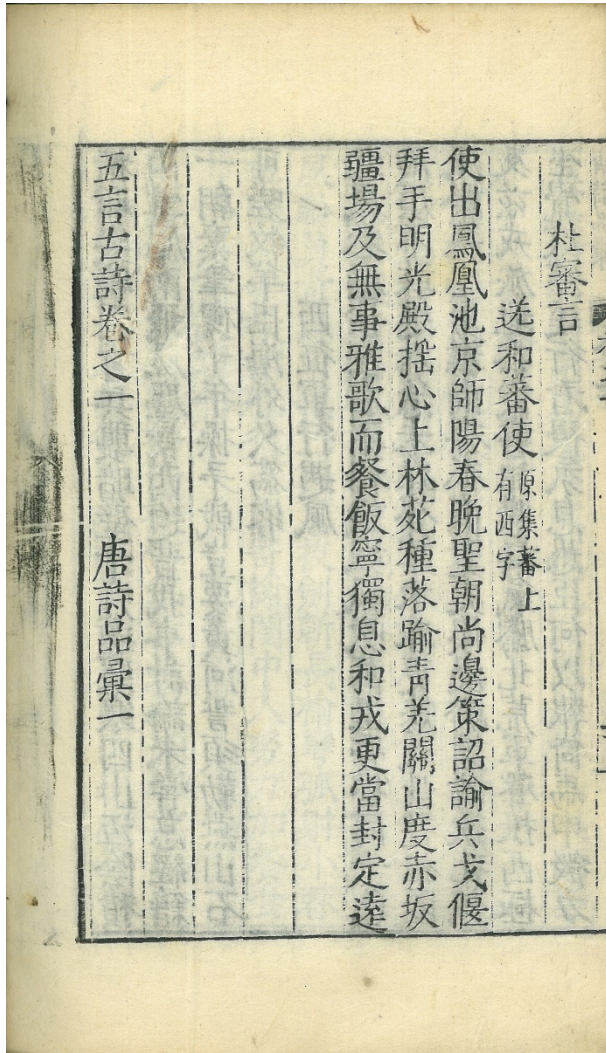
卷之一

一

集部 總集類 各代之屬

唐詩品彙九十卷

明 高棟輯 朝鮮 刊本 20册



杜審言

送和蕃使

原集蕃上有西字

使出鳳凰池 京師陽春晚 聖朝尚邊策 詔諭兵戈偃
拜手明光殿 搖心上林苑 種落踰青羌 關山度赤坂
疆場及無事 雅歌而餐飯 寧獨息和戎 更當封定遠

五言古詩卷之一

唐詩品彙一

藏書印索引

【bao】

寶玲文庫 26

【da】

大寧院 10, 12

【feng】

風雪莊文庫印 5, 6, 7

【ji】

箕三 44

【liu】

柳時會章 40, 42

【lu】

鹿野山人 8

【qin】

欽文之寶 18

【qun】

群玉圖書之府 24

【shi】

侍講院（篆文） 24

侍講院（楷書） 24

【shui】

水村 40, 42

【xiang】

香雪館 44

【yu】

御營 30, 32

【zhao】

趙寧夏印 44

ORIENTAL STUDIES REFERENCE SERIES

No.22

Ten Selected Copies of Old Chinese Books
Republished in Korea

CENTER FOR DIGITAL HUMANITIES IN EAST ASIAN STUDIES
INSTITUTE FOR RESEARCH IN HUMANITIES
KYOTO UNIVERSITY

2016

〔東方學資料叢刊 第22冊〕

朝鮮本十選

編者 矢木 毅

発行日 2016年8月5日

制作者 明文舎印刷株式会社

発行者 京都大學人文科學研究所附屬東アジア人文情報學研究センター

〒606-8265 京都市左京區北白川東小倉町47

Tel. 075-753-6996 Fax. 075-753-6999

<http://www.kita.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>

ORIENTAL STUDIES REFERENCE SERIES

No.22

Ten Selected Copies of Old Chinese Books
Republished in Korea

CENTER FOR DIGITAL HUMANITIES IN EAST ASIAN STUDIES
INSTITUTE FOR RESEARCH IN HUMANITIES
KYOTO UNIVERSITY

2016